

2012（平成24）年10月期・2013（平成25）年4月期
東京大学アサツー ディ・ケイ中国育英基金による奨学生の募集について

東京大学は、中国の北京大学、清華大学又は復旦大学を優秀な成績で卒業し（見込みを含む。）、当該大学長より推薦を受けた学生を本学大学院修士課程又は専門職学位課程（以下「修士課程等」とする。）に受け入れ、中国における各界の指導的立場に立つ次世代の人材育成につとめるとともに、留学生交流の一層の促進を図ることを目的として、次により学生を募集する。

1. 基金の概要

本基金は、株式会社アサツーディ・ケイの稲垣正夫代表取締役会長の中国社会に対する深い理解と日中友好への長年の願いを具現化するものであり、全額、同会社の寄附により「東京大学アサツーディ・ケイ中国育英基金」として運営されるものである。

- (1) 運営期間：平成18年4月より10年間とする。
- (2) 奨学金等：奨学生には、奨学金及び往復渡航旅費を支給する。
- (3) 受入れ時期は、日本語で教育を受ける4月入学と英語で教育を受ける10月入学の2種類、各期2～5名とし、毎年7名程度を受入れる。

2. 奨学生

学生は、中国における出身大学の学長の推薦をうけ、かつ、入学を希望する東京大学大学院の研究科等が実施する修士課程等の入学試験に合格する必要がある。

奨学生には、修士課程等の標準修業年限の2年間、月額15万円の奨学金及び渡日及び帰国時の渡航に要する旅費が支給される。なお、標準修業年限は2年間であるが、同年限ですべての学生に修士の学位が授与されるものではない。

奨学生は、修士課程等を修了し、博士課程入学試験を受験し、合格の上は博士課程に進学することも可能であるが、本基金による奨学生の身分はなくなる。

3. 日本語予備教育

4月期奨学生として採用が決定された者は、希望により中国赴日本国留学生予備学校（東北師範大学内）に於いて日本語の予備教育（予定期間：9月～1月）を受けることができる。これに要する学費及び宿舍費は、本基金が負担する。ただし、この間の奨学金は支給しない。

なお、10月期奨学生として採用された者は、日本語予備教育は受講できない。

4. 対象者

次の各号のすべての条件を満たす者とする。

- (1) 中華人民共和国籍を有する者であること。
- (2) 北京大学、清華大学又は復旦大学で優秀な成績を修めた者として、当該大学長が推薦する者であること。
- (3) 10月期奨学生にあつては英語、4月期奨学生にあつては日本語で研究指導を受けることのできる十分な語学力を有すること。
- (4) 国内外を問わず、他の機関から奨学金を受給しないこと。

5. 募集分野

学生募集を行う研究科等・専攻等は、次のとおりとする。

2012（平成24）年10月期	2013（平成25）年4月期
大学院経済学研究科 現代経済専攻 大学院総合文化研究科 国際人材養成プログラム (Graduate Program on Global Society) 広域科学専攻・国際環境学プログラム (Graduate program on environmental sciences) 大学院理学系研究科 物理学専攻 化学専攻 生物化学専攻 大学院新領域創成科学研究科 物質系専攻 先端エネルギー工学専攻 自然環境学専攻 海洋技術環境学専攻 環境システム学専攻 社会文化環境学専攻 国際協力学専攻 複雑理工学専攻 人間環境学専攻 サステナビリティ学教育プログラム 大学院学際情報学府 アジア情報社会コース 大学院公共政策学教育部 公共政策学専攻 (国際プログラムコース)	大学院人文社会系研究科 基礎文化研究専攻 (ただし、哲学専門分野、美術史学専門分野、倫理学専門分野及び心理学専門分野は募集しない。) 日本文化研究専攻 (ただし、日本語日本文学専門分野は募集しない) アジア文化研究専攻 (ただし、中国語中国文学専門分野では募集しない。) 欧米系文化研究専攻 (ただし、西洋史学専門分野は募集しない。) 社会文化研究専攻 文化資源学研究専攻 韓国朝鮮文化研究専攻 大学院教育学研究科 大学院法学政治学研究科 綜合法政専攻 大学院経済学研究科 経済理論専攻 現代経済専攻 経営専攻 経済史専攻 金融システム専攻 大学院総合文化研究科 言語情報科学専攻 超域文化科学専攻 (表象文化論分野) 国際社会科学専攻 広域科学専攻 (生命環境科学系、広域システム科学系、関連基礎科学系) 大学院理学系研究科 物理学専攻 地球惑星科学専攻 化学専攻 生物化学専攻 大学院農学生命科学研究科 大学院医学系研究科 国際保健学専攻 大学院数理科学研究科 大学院新領域創成科学研究科 物質系専攻 先端エネルギー工学専攻 先端生命科学専攻 自然環境学専攻

2012（平成 24）年 10 月期	2013（平成 25）年 4 月期
	海洋技術環境学専攻 環境システム学専攻 社会文化環境学専攻 国際協力学専攻 情報生命科学専攻 複雑理工学専攻 メディカルゲノム専攻 人間環境学専攻 大学院公共政策学教育部 公共政策学専攻 （法政策コース） （公共管理コース） （国際公共政策コース） （経済政策コース）

6. 募集人員

10 月期は 3 名程度、4 月期は 5 名程度

（各期とも、各大学から 3 名以内の推薦を受け、東京大学が入学者を選考する。）

7. 申請手続

(1) 各大学長は、次に掲げる書類を被推薦者に用意させ、東京大学総長宛に推薦することとする。

- ① 東京大学大学院修士課程等入学願書
- ② 推薦書（指導教員等作成）
- ③ 大学の成績証明書
- ④ 大学の卒業（見込）証明書
- ⑤ 研究計画書
- ⑥ 印刷した「受付完了画面」（検定料を支払った証明となるので必ず印刷すること）
- ⑦ その他（研究科等指定書類）

※ 日本語学力証明書は、日本語担当教員又はこれに準ずる者が記入したものとする。

※ 他機関実施試験（TOEFL 等）の成績等の特に余裕を持って準備すべき書類、研究科等指定書類及び提出書類に関する注意等に関しては、別表 1 及び別表 2 を参照のこと。

※ 日本語・英語以外の文書については、日本語訳を添えること。

(2) 推薦期限：平成 23 年 10 月 28 日（金）

8. 選考方法

各研究科等の定めるところにより、書類審査、筆記試験及び口述試験（面接を含む。）の範囲内で、入学試験を行う。試験実施期日、時間割等は後日各大学長及び本人宛に通知する。

9. 入学許可決定時期

入学許可は、平成 24 年 1 月中旬までに、各大学長及び本人宛に通知する。

1 0. 学費等について

- (1) 検定料 各大学院研究科等が別途定めるところによる
※金額や支払い方法等については 15 ページを参照
- (2) 入学料 282,000 円 (平成 23 年度)
- (3) 授業料 535,800 円 (年額) (平成 23 年度)

1 1. 注意事項

- (1) 奨学生への奨学金の支給の詳細については、別紙「東京大学アサツー ディ・ケイ中国育英基金奨学金の概要」を参照すること。
- (2) 障害(視覚・聴覚障害、肢体不自由等)のある者で、受験あるいは修学上特別な配慮を必要とする者は、あらかじめ相談すること。
- (3) 渡日希望時期により募集対象分野が異なるので注意すること。
- (4) 入学料・授業料を減免する制度があるので、希望する奨学生は所定の期日までに減免申請をすること。
- (5) 出願に当たって知り得た氏名、住所その他の個人情報については、①入学者選抜(出願処理、選抜実施)、②合格発表、③入学手続業務を行うために利用する。また、同個人情報は、入学者のみ①教務関係(学籍、修学等)、②学生支援関係(健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請、図書館の利用等)、③授業料徴収に関する業務を行うために利用する。

1 2. 関係書類提出先及び照会先

東京大学北京代表所

〒100080

北京市海淀区中関村北大街 151 号 資源大厦 1018 室

電話 010-5887-6566, 6567

東京大学国際部留学生・外国人研究者支援課

〒113-8654

東京都文京区本郷 7-3-1

電話 +81-3-5841-2515

別表 1
研究科等指定書類等 (2012 (平成 24) 年 10 月期)

研究科・教育部名	他機関実施試験 (TOEFL 等) の成績等の特に余裕を持って準備すべき書類	研究科等指定書類及び提出書類に関する注意等
大学院経済学研究科 ・現代経済専攻 (特に、マクロ経済学、ミクロ経済学、計量経済学を手法とする研究分野を希望する者)	<ul style="list-style-type: none"> ・ TOEFL の Official Score Report と Examinee Score Report の写し ・ ETS に TOEFL の Official Score Report の送付を依頼する場合は本研究科 DI コード 7101 を使用すること ・ GRE の General Test の Official Score Report と Score of Reports のコピー ・ ETS に Official Score Report の送付を依頼する場合は Institutional Code、4179 を使用すること 	<研究科等指定書類> <ul style="list-style-type: none"> ・ Personal Statement: within 500 words. (志望動機書: 英語で 500 語以内 過去の専攻分野、日本での研究計画、応募理由など) <提出書類に関する注意> <ul style="list-style-type: none"> ・ 推薦書 3 通 (少なくとも 1 通は大学の教員が記載したものを提出すること) <その他> <ul style="list-style-type: none"> ・ 経済学高度インターナショナルプログラムに参加することが前提なので、下記サイトをチェックすること。 http://www.e.u-tokyo.ac.jp/utipe/
大学院総合文化研究科 ・国際人材養成プログラム (Graduate Program on Global Society)	<ul style="list-style-type: none"> ・ TOEFL の Official Score Report ・ GRE General Test の Official Score Report 	<研究科指定書類> <ul style="list-style-type: none"> ・ Personal Statement: within 1,000 words (志望動機書: 英語で 1,000 語以内。過去の専攻分野、日本での研究計画、応募理由など) ・ 写真 2 枚 (縦 4cm×横 3cm) ・ 推薦書 3 通 (密封し、封の上に推薦者がサインすること) <提出書類に関する注意> <ul style="list-style-type: none"> ・ 書類は「推薦書」、「研究計画書」、「東京大学大学院修士課程等入学願書」を含め、全て英語で記入のこと
・広域科学専攻・国際環境学プログラム (Graduate program on environmental sciences)	<ol style="list-style-type: none"> 1) Score of TOEFL. 2) GRE score record, (General test) and optionally subject test score, if available. 	<研究科指定書類> <ol style="list-style-type: none"> 1) A short essays of your past study. 2) Research plan in this program. 3) Two letters of recommendation. 4) Names of professors (ordering the priority) with whom you want to study. <提出書類に関する注意> <ul style="list-style-type: none"> ・ All documents to be submitted should be written in English.
大学院理学系研究科 ・物理学専攻	<ul style="list-style-type: none"> ・ TOEFL の Official Score Report (2 年以内のもの) ※ETS に Official Score Report の送付を請求する際のコード番号は 8002-01 を使用すること。 ・ GRE Subject Test の Official Score Report (2 年以内のもの) <ul style="list-style-type: none"> ・ Physics (全応募者)・ Biochemistry, Cell and Molecular Biology (生物物理を志望する応募者はこの科目の成績を添えても良い) ※ETS に Official Score Report の送付を請求する際のコード番号は 7048 を使用すること。 	<提出書類> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指導教員ないし応募者を良く知る人の推薦書 2 通 ・ 学部成績・卒業証明書 ・ ショートエッセイ (A4、1 枚程度、英文希望) ・ GRE subject test 及び TOEFL の Examinee's Score Record のコピー

<p>・化学専攻</p>	<p>・TOEFL の Official Score Report (2年以内のもの) ※ETSに Official Score Report の送付を請求する際のコード番号は 8002-01 を使用すること。</p> <p>・GRE General Test (2年以内のもの) ※ETSに Official Score Report の送付を請求する際のコード番号は 7048 を使用すること。</p>	<p><提出書類></p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導教員ないし応募者を良く知る人の推薦書 2 通 ・学部成績・卒業証明書 ・最終出身大学における GPA (Grade Point Average) のスコアが判る場合は、その証明書等を提出すること。 ・GRE subject test 及び TOEFL の Examinee's Score Record のコピー
<p>・生物化学専攻</p>	<p>・TOEFL の Official Score Report (2年以内のもの) ※ETSに Official Score Report の送付を請求する際のコード番号は 8002-01 を使用すること。</p> <p>・GRE は Subject Test を課す。以下から 1 科目選択</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Biochemistry, Cell and Molecular Biology ・Biology <p>※ETSに Official Score Report の送付を請求する際のコード番号は 7048 を使用すること。</p>	<p><提出書類></p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導教員ないし応募者を良く知る人の推薦書 2 通 ・学部成績・卒業証明書 ・GRE subject test 及び TOEFL の Examinee's Score Record のコピー

研究科・教育部名	他機関実施試験（TOEFL 等）の成績等の特に余裕を持って準備すべき書類	研究科等指定書類及び提出書類に関する注意等
大学院新領域創成科学研究科 ・物質系専攻 ・先端エネルギー工学専攻 ・自然環境学専攻 ・海洋技術環境学専攻 ・環境システム学専攻 ・社会文化環境学専攻 ・国際協力学専攻	・TOEFL の Official Score Report	<研究科等指定書類> ・日本語学力証明書 <提出書類に関する注意> ・研究計画書には志望指導教員を明記すること ・自然環境学専攻の志望者は、研究計画書及び推薦書を日本語あるいは英語で用意することが望ましい <その他> ・物質系専攻は中国での面接（TV 会議システムを含む）を実施する。自然科学専攻、社会文化環境学専攻は必要に応じてTV 会議システムによる面接等を実施する。
・複雑理工学専攻	・TOEFL の Official Score Report 及び GRE Subject Test (Mathematics, Physics, Chemistry から1科目選択)の Official Score Report と Examinee's Score Report	・ETS に Official Score Report の送付を請求する際には、新領域創成科学研究科の DI コード 8001 を用いること
・人間環境学専攻	・TOEFL の Official Score Report (必須) ・GRE の Official Score Report (任意)	<研究科等指定書類> ・日本語学力証明書 <提出書類に関する注意> ・研究計画書には志望指導教員を明記すること <その他> ・指導を希望する教員と前もって連絡を取ることを強く推奨する ・ETS に Official Score Report の送付を請求する際には、新領域創成科学研究科の DI コード 8001 を用いること
・サステナビリティ学教育プログラム	・TOEFL の Official Score Report	<研究科等指定書類> ・日本語学力証明書（ただし選抜において日本語能力は考慮しない） ・事前に与えた課題に関する小論文 （小論文の課題は募集年度の9月1日に本プログラムの WEB に掲載する） <提出書類に関する注意> ・研究計画書には志望指導教員を3名明記すること。ただし、本プログラムでは指導教員の決定は入学後に様々な教員との面談を通して行う。ここで記載しなかった教員が指導教員になる可能性もあるので注意すること。 <その他> ・必要に応じて、TV 会議システムで面接を実施する ・ETS に Official Score Report の送付を請求する際には、新領域創成科学研究科の DI コード 8001 を用いること

研究科・教育部名	他機関実施試験（TOEFL 等）の成績等の特に余裕を持って準備すべき書類	研究科等指定書類及び提出書類に関する注意等
大学院公共政策学教育部 ・公共政策学専攻 （国際プログラムコース）	<ul style="list-style-type: none"> ・TOEFL の Examinee's Score Record の写し及び TOEFL の Official Score Report ETS に Official Score Report の送付を請求する際には、公共政策学教育部の Institution Code とし 8554 を用いること ・GRE の公式スコアレポートの提出を奨励する。これは任意であるが、スコア提出があった場合、選考にあたり考慮の対象とする。公式スコアレポートは ETS 事務局より東京大学公共政策大学院に直接送付されること。（機関コード：3944） 	<p>＜研究科指定書類＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パスポート等、身分を証明できるもののコピー <p>＜提出書類に関する注意＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・推薦書は2通、指定の書類とともに提出すること ・研究計画書に代えて、志望理由（本教育部所定の様式を利用、手書きでなくタイプされたもの1000語以内）を提出すること。
大学院学際情報学府 ・アジア情報学専攻 （アジア情報社会コース）	<ul style="list-style-type: none"> ・TOEFL の Official Score Report が必要。ETS に Official Score Report の送付を請求する際には、学際情報学府の Institution Code 0440 (U of Tokyo Grad Sch Inter Info) を用いること ・GRE General Test の Official Score Report が必要。ETS に Official Score Report の送付を請求する際には、学際情報学府の Institution Code 3560 (U Tokyo Grad Sch Inter Info) を用いること 	<p>＜研究科等指定書類＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究成果の代表例1点（卒業論文、学期末レポートなど。英語以外で書かれたものには、英語（3,000語）の要約を添付すること） ・パスポートスタイルの写真3枚（縦4cm×横3cm、6ヶ月以内に撮影されたもの） ・パスポート等、身分を証明できるもののコピー ・推薦状3通（推薦者のサインが必須。それぞれに Evaluation Form (=Form #3)を同封すること *Form #3 は http://itasia.iii.u-tokyo.ac.jp/からダウンロードすること <p>＜提出書類に関する注意＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・推薦状は英語あるいは日本語、それ以外の書類は「東京大学大学院修士課程等入学願書」および「研究計画書」を含め、全部英語で記入のこと 推薦状以外は全部英語で記入のこと

上の表を確認のうえ、TOEFL の Official Score Report 等が必要な場合は準備しておくこと。
 なお TOEFL、GMAT、GRE については、願書提出日より起算して2年以内に受験したものでなければならない。

別表 2

研究科等指定書類等 (2013 (平成 25) 年 4 月期)

研究科・教育部名	他機関実施試験 (TOEFL 等) の成績等の特に余裕を持って準備すべき書類	研究科等指定書類及び提出書類に関する注意等
大学院人文社会系研究科 ・基礎文化研究専攻 (ただし、哲学専門分野、美術史学専門分野、倫理学専門分野及び心理学専門分野は募集しない) ・日本文化研究専攻 (ただし、日本語日本文学専門分野は募集しない) ・アジア文化研究専攻 (ただし、中国語中国文学専門分野では募集しない) ・欧米系文化研究専攻 (ただし、西洋史学専門分野では募集しない) ・社会文化研究専攻 ・文化資源学研究専攻 ・韓国朝鮮文化研究専攻		<研究科等指定書類> ・卒業論文もしくはそれに代わる論文を提出すること。論文で使用する言語については志望専門分野に問い合わせること ・社会文化研究専攻の社会学専門分野への志願者は上記の論文に加えて、入学後の研究テーマに関連する日本語 3,000 字程度の研究プロポーザルを提出すること ・日本語学力証明書は必須。ほかに日本語能力を証明するものがあれば添付すること <提出書類に関する注意> ・入学願書及び研究計画書は日本語、その他は日本語・英語以外の文書については日本語訳を添えること
大学院教育学研究科	・TOEFL の Official Score Report	<研究科等指定書類> ・研究計画書 (次の①、②をそれぞれ記載する) ① 関心をもって取り組んできた研究の主題及び内容 (日本語 1200 字) ② 現在考えている入学後の研究の主題及び内容 (日本語 1200 字) ・日本語能力試験 1 級の合格証及びスコア表 (それがない場合には日本語学力証明書を提出すること。) <提出書類に関する注意> ・書類選考のほか、テレビ会議システムの使用が可能であれば面接の実施を検討。
大学院法学政治学研究科 ・総合法政専攻		<提出書類に関する注意> ・研究計画書は修了後の予定を含め、日本語で 3,000 字程度のものとする
大学院経済学研究科 ・経済理論専攻 ・現代経済専攻 ・経営専攻 ・経済史専攻 ・金融システム専攻	・TOEFL の Official Score Report と Examinee Score Report の写し ・ETS の TOEFL の Official Score Report の送付を請求する際は、本研究科 DI コード 7101 を使用すること ・TOEFL 及び GMAT の Official Score Report。加えて、Test Taker Copy あるいは Unofficial GMAT Score Report のコピー ・ETS に TOEFL の Official Score Report の送付を依頼する際は、本研究科 DI コード 7101 を使用すること ・また、GMAT の Score Report の送付を依頼する際は、本研究科プログラムコード F62-NV-64 を使用すること	<研究科等指定書類> ・入学志願論文 (日本語または英語で作成) を提出すること ・日本語能力試験 1 級の合格証及びスコア表を提出すること (それがない場合には日本語学力証明書を提出すること)

研究科・教育部名	他機関実施試験（TOEFL 等）の成績等の特に余裕を持って準備すべき書類	研究科等指定書類及び提出書類に関する注意等
大学院総合文化研究科 ・言語情報科学専攻		<p><研究科等指定書類></p> <ul style="list-style-type: none"> ・本学修士課程における研究テーマに関連する、12,000字以内の日本語による論文 ・日本語能力試験1級の合格証及びスコア表を提出すること（それがない場合は日本語学力証明書を提出すること） <p><提出書類に関する注意></p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究計画書は日本語で作成すること ・研究計画書に希望指導教員名（複数可）を明記すること
・超域文化科学専攻 (表象文化論分野)		<p><研究科等指定書類></p> <ul style="list-style-type: none"> ・本学修士課程における研究テーマに関連する、12,000字以内の日本語による論文 <p><提出書類に関する注意></p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究計画書は日本語で作成すること
・国際社会科学専攻		<p><研究科等指定書類></p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業論文又はそれに準ずる論文（中文でもよいが、2,000字程度の日本語要旨を添付すること） ・日本語学力証明書 <p><提出書類に関する注意></p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究計画書は英語及び日本語の2種類（同一内容）を作成すること
・広域科学専攻 (生命環境科学系)	・TOEFL の Official Score Report を提出すること	<p><研究科等指定書類></p> <ul style="list-style-type: none"> ・成績証明書及び推薦書 ・日本語学力証明書 ・志望理由書（日本語が望ましい）
・広域科学専攻 (広域システム科学系)	・TOEFL の Official Score Report が必要	<p><研究科等指定書類></p> <ul style="list-style-type: none"> ・成績証明書及び学部の卒業証明書 ・推薦書
・広域科学専攻 (関連基礎科学系)	・TOEFL の Official Score Report を提出すること	<p><研究科等指定書類></p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本語学力証明書は、あれば提出すること <p><提出書類に関する注意></p> <ul style="list-style-type: none"> ・成績証明書及び推薦書は英文を希望

研究科・教育部名	他機関実施試験（TOEFL 等）の成績等の特に余裕を持って準備すべき書類	研究科等指定書類及び提出書類に関する注意等
大学院理学系研究科 ・物理学専攻	<ul style="list-style-type: none"> ・ TOEFL の Official Score Report (2年以内のもの) ※ETSに Official Score Report の送付を請求する際のコード番号は 8002-01 を使用すること。 ・ GRE Subject Test (2年以内のもの) <ul style="list-style-type: none"> ・ Physics (全応募者) ・ Biochemistry, Cell and Molecular Biology (生物物理学を志望する応募者はこの科目の成績を添えても良い) ※ETSに Official Score Report の送付を請求する際のコード番号は 7048 を使用すること。 	<研究科等指定書類> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指導教員ないし応募者を良く知る人の推薦書 2 通 ・ 学部成績・卒業証明書 ・ ショートエッセイ (A4、1 枚程度、英文希望) ・ GRE subject test 及び TOEFL の Examinee's Score Record のコピー
・ 地球惑星科学専攻	<ul style="list-style-type: none"> ・ TOEFL の Official Score Report (2年以内のもの) ※ETSに Official Score Report の送付を請求する際のコード番号は 8002-01 を使用すること。 ・ GRE は Subject Test を課す。以下から 1 科目選択 (2年以内のもの) <ul style="list-style-type: none"> ・ Biology ・ Chemistry ・ Mathematics ・ Physics ※ETSに Official Score Report の送付を請求する際のコード番号は 7048 を使用すること。 	<提出書類> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指導教員ないし応募者を良く知る人の推薦書 2 通 ・ 学部成績・卒業証明書 ・ Essay in English, of 600-800 words (行いたい研究、研究における重要な経験などを記載すること) ・ GRE subject test 及び TOEFL の Examinee's Score Record のコピー

研究科・教育部名	他機関実施試験（TOEFL 等）の成績等の特に余裕を持って準備すべき書類	研究科等指定書類及び提出書類に関する注意等
大学院理学系研究科 ・化学専攻	<ul style="list-style-type: none"> ・ TOEFL の Official Score Report（2年以内のもの） ※ETS に Official Score Report の送付を請求する際のコード番号は 8002-01 を使用すること。 ・ GRE General test（2年以内のもの） ※ETS に Official Score Report の送付を請求する際のコード番号は 7048 を使用すること。 	<p>＜提出書類＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指導教員ないし応募者を良く知る人の推薦書 2 通 ・ 学部成績・卒業証明書 ・ 最終出身大学における GPA (Grade Point Average) のスコアが判る場合は、その証明書等を提出すること。 ・ GRE subject test 及び TOEFL の Examinee's Score Record のコピー
・生物化学専攻	<ul style="list-style-type: none"> ・ TOEFL の Official Score Report（2年以内のもの） ※ETS に Official Score Report の送付を請求する際のコード番号は 8002-01 を使用すること。 ・ GRE は Subject Test を課す。以下から 1 科目選択（2年以内のもの） <ul style="list-style-type: none"> ・ Biochemistry, Cell and Molecular Biology ・ Biology ※ETS に Official Score Report の送付を請求する際のコード番号は 7048 を使用すること。 	<p>＜提出書類＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指導教員ないし応募者を良く知る人の推薦書 2 通 ・ 学部成績・卒業証明書 ・ GRE subject test 及び TOEFL の Examinee's Score Record のコピー
大学院農学生命科学研究科	<ul style="list-style-type: none"> ・ TOEFL の Official Score Report 	<p>＜研究科等指定書類＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ TOEFL 及び日本語学力証明書は、全専攻で必要 <p>＜提出書類に関する注意＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生産・環境生物学専攻は専門科目 1 科目の筆記試験を実施。森林科学専攻は、面接時に筆記試験を実施する場合あり ・ 生産・環境生物学、応用生命化学、応用生命工学、森林科学、農学国際、生圏システム学専攻では北京での面接を実施
大学院医学系研究科 ・国際保健学専攻	<ol style="list-style-type: none"> 1. TOEFL の Official Score Report 2. 推薦状 2 通 3. 学部成績表 4. 卒業証明書 	<p>＜研究科指定書類＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指導教員または応募者をよく知る人の推薦状 2 通 <p>＜その他＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中国での面接を実施する
大学院数理科学研究科		<p>＜研究科等指定書類＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本語学力証明書、TOEFL 等の英語学力証明書は、あれば提出すること <p>＜提出書類に関する注意＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 成績証明書、研究計画書及び推薦書は英文での記載を必須とする ・ 出願者は研究計画書に希望指導教員名（複数可）を明記すること <p>＜その他＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 予備選考過程で e-mail 等により、専門科目に関する面接を実施する

研究科・教育部名	他機関実施試験（TOEFL 等）の成績等の特に余裕を持って準備すべき書類	研究科等指定書類及び提出書類に関する注意等
大学院新領域創成科学研究科 ・物質系専攻 ・先端エネルギー工学専攻 ・先端生命科学専攻 ・自然環境学専攻 ・海洋技術環境学専攻 ・環境システム学専攻 ・社会文化環境学専攻 ・国際協力学専攻 ・情報生命科学専攻	・TOEFL の Official Score Report (先端生命科学専攻は不要)	<研究科等指定書類> ・日本語学力証明書 <提出書類に関する注意> ・研究計画書には志望指導教員を明記すること ・自然環境学専攻の志望者は、研究計画書及び推薦書を日本語あるいは英語で用意することが望ましい <その他> ・先端生命科学専攻は筆記試験（外国語科目）を実施する ・物質系、先端生命科学専攻は中国での面接（TV 会議システム利用を含む）を実施する。自然科学専攻、社会文化環境学専攻は必要に応じて TV 会議システムによる面接等を実施する ・ETS に Official Score Report の送付を請求する際には、新領域創成科学研究科の DI コード 8001 を用いること
・複雑理工学専攻	・TOEFL の Official Score Report 及び GRE Subject Test (Mathematics, Physics, Chemistry から 1 科目選択) の Official Score Report と Examinee's Score Report	<研究科等指定書類> ・日本語学力証明書 <提出書類に関する注意> ・研究計画書には志望指導教員を明記すること <その他> ・ETS に Official Score Report の送付を請求する際には、新領域創成科学研究科の DI コード 8001 を用いること
・メディアゲーム専攻	・TOEFL の Official Score Report	<研究科等指定書類> ・日本語学力証明書 <提出書類に関する注意> ・研究計画書には志望指導教員を明記すること <その他> ・中国での面接を実施する（最低限 TV 会議システムを利用した面接を行う） ・卒業研究発表（英語）と基礎、専門に関する口頭試験を行う ・ETS に Official Score Report の送付を請求する際には、新領域創成科学研究科の DI コード 8001 を用いること
・人間環境学専攻	・TOEFL の Official Score Report (必須) ・GRE の Official Score Report (任意)	<研究科等指定書類> ・日本語学力証明書 <提出書類に関する注意> ・研究計画書には志望指導教員を明記すること <その他> ・指導を希望する教員と前もって連絡を取ることを強く推奨する ・ETS に Official Score Report の送付を請求する際には、新領域創成科学研究科の DI コード 8001 を用いること

研究科・教育部名	他機関実施試験（TOEFL 等）の成績等の特に余裕を持って準備すべき書類	研究科等指定書類及び提出書類に関する注意等
大学院公共政策学教育部 ・公共政策学専攻 （法政策コース） （公共管理コース） （国際公共政策コース） （経済政策コース）	<ul style="list-style-type: none"> ・ TOEFL の Examinee's Score Record の写し及び TOEFL の Official Score Report ETS に Official Score Report の送付を請求する際には、公共政策学教育部の Institution Code として 8554 を用いること 	<p><研究科等指定書類></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本語能力試験 1 級の成績証明書の写し又は日本語学力証明書（所定用紙を利用し、日本語で作成されたもの）を提出すること。 <p><提出書類に関する注意></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入学願書に希望コース名を記載すること。 ・ 推薦書は公共政策に関する専門分野の指導教員等に記載を依頼すること。 ・ 研究計画書に代えて、学習計画書（本教育部所定の様式を利用）を提出すること。 ・ 入学願書及び学習計画書は日本語で作成すること。 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 経済政策コースを希望する者は、下記のうち一つか又はそれと同等のレベルの教科書を読んでおくこと。 <p>Paul Krugman and Robin Wells Worth Pub Microeconomics Macroeconomics</p> <p>N. Gregory Mankiw South Western Principles of Microeconomics Principles of Macroeconomics</p> <p>Joseph E. Stiglitz Carl E. Walsh Economics</p>

上の表を確認のうえ、TOEFL の Official Score Report 等が必要な場合は準備しておくこと。
 なお TOEFL、GMAT、GRE については、願書提出日より起算して 2 年以内に受験したものでなければならない。

検定料の支払いについて

1. 検定料の支払い方法

- (1) 検定料の支払い方法は、クレジットカードでの払込に限る。
- (2) クレジットカードは、「ビザカード (VISA)」、「マスターカード (Master)」、「UC カード」、「JCB カード」、「アメリカン・エクスプレスカード (American Express)」が利用可能。
- (3) 実際の払い込みは、ウェブサイトを通じて行う (以下の URL を参照)。

- ・支払いサイト (英語) <https://e-shiharai.net/english/>
- ・クレジットカードでの支払方法
<http://www.u-tokyo.ac.jp/res03/pdf/howtomakeapayment.pdf>

- (4) 払い込みが完了した後、「受付完了画面」を印刷し、他の申請書類とともに、東京大学北京代表所へ提出すること。

2. 支払い期間

検定料の支払い期間は平成 23 年 9 月 15 日 (木) ~平成 23 年 10 月 28 日 (金) とする。

3. 検定料の金額

大学院人文社会系研究科	30,000 円
大学院教育学研究科	10,000 円
大学院法学政治学研究科	10,000 円
大学院経済学研究科	10,000 円
大学院総合文化研究科	10,000 円
大学院理学系研究科	10,000 円
大学院農学生命科学研究科	10,000 円
大学院医学系研究科	10,000 円
大学院数理科学研究科	10,000 円
大学院新領域創成科学研究科	10,000 円
大学院学際情報学府	10,000 円
大学院公共政策学教育部	10,000 円